

専念寺通信

3月号 (NO.187) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

冷え込む日の合間に、あたたかな日差しが差す日も増えてまいりました。春が待ち遠しいこの頃、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。



☆春の彼岸

うるう年の今年、春分＝お彼岸のお中日は3月20日の日曜日となり、3月17日～23日が春の彼岸会です。春休みに入りますと、4月より2年生と3年生になる、長男・久希（ひさき）と次男・榛志（はるし）も作務衣を着て境内におります。みなさまにお会いできることを楽しみにしております。

☆青年会会長

法然上人が悟りを開いたのは、43歳の時だと伝えられています。そのため浄土宗では43歳までの僧侶は「青年」とされ、「青年会」という組織で研修会や福祉活動など、若手の僧侶ならではの様々な活動に勤めます。

当山住職は現在42歳、35歳で得度してより、青年会に所属して活動に従事して参りました。

この度前会長より推薦を頂き、東京教区城西組青年会の組長をつとめさせていただくこととなりました。この4月から、任期は二年間です。重責ではございますが、信任いただいたことを有難く、大事にして勤めて参ります。



これに伴い専念寺以外の場所での法務も少し増えて参りますが、できるだけ専念寺にてみなさまとお会いしたいと思っておりますので、何かお気づきの点やご相談がございましたら、どうぞお聞かせくださいませ。

☆御忌（ぎよき）（4月2日～7日）

来月は大本山増上寺にて、御忌（法然上人の忌日法要、旧暦の1月25日）が執り行われます。「御忌」とは本来天皇陛下にのみ許される言葉ですが、法然上人は天皇陛下にこの言葉を使うことを許されております。

2日の開白に始まり、期間中は日中法要、詠唱奉納大会や施餓鬼会回向などが連日執り行われ、7日の結願へと続きます。専念寺でも、住職は青年会より参拝の皆さまのご案内に、若大黒は婦人会よりお茶出し等のお手伝いに参ります。将軍家墓所や、宝物展示室の特別公開などもございますので、檀家のみなさまも、機会がありましたらぜひお参りくださいませ。

平成28年3月1日 専念寺